

平成29年8月10日号（第176回）

阿伎留通信

公立阿伎留医療センターは、医の心を重んじ、患者の生命と健康と生活の質を考える良質の医療を実践し、地域医療の最適化に努力します。

連日報道されている危険な外来昆虫「ヒアリ」。ヒアリに刺された時の症状は人によって大きく異なり、軽度の場合は痛みやかゆみで済みますが、アナフィラキシーショックという重度のアレルギー反応を引き起こす可能性もあるそうです。



万が一刺された場合は必ず病院を受診ください。また、ヒアリに関する情報は環境省HP (<http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/fireant.html>) をご確認ください。

今回の阿伎留通信は、

－ 「3階東病棟のご紹介」 －

をテーマに3階東病棟の渡辺 いくみ 看護師長よりお話しさせていただきます。

○ 3階東病棟のご紹介

当院の3階東病棟は緩和ケア病棟であり、入院対象となる患者さんは、「がん」と診断され心身の苦痛に悩まれている方です。がんは痛みなど身体の苦痛を伴いやすく、それにより気持ちも辛くなり、日常生活が妨げられることの多い病気です。このような様々な辛さを和らげるため、当病棟では患者さんやご家族と話し合いながら、すこしでも自分らしく生活できるように支援を行っています。例えば、体調の改善に役立つと考えられる医療行為（点滴・栄養・輸血の管理、症状を和らげるための放射線治療、腹水の除去、リハビリテーションなど）は積極的に行います。



また、終の住み処としての利用だけでなく、積極的な緩和治療を行う急性期緩和ケア病棟としての役割も重視しており、辛い症状が落ち着いた場合は自宅へ退院することも可能です。その場合は地域の在宅医と連携しながら、必要に応じて緊急入院体制をとっています。

○病棟の紹介

- ・病 床 数： 16床 全室個室（うち有料個室8床）
- ・スタッフ： 緩和治療医師4名（うち非常勤2名）、看護師15名、看護補助者1名
患者さんの辛さを和らげるため、薬剤師、リハビリ療法士、栄養士、ソーシャルワーカー、アロマセラピスト、ボランティアスタッフなど多職種で連携しながら支援に取り組んでいます。
- ・設 備： 3階東病棟には屋上庭園があり、ボランティアスタッフの手入れにより色とりどりのお花が一年中咲いています。庭園に続くテラスは病室からバリアフリーとなっており、ベッドに横になったまま外に出ることも可能です。また、庭園を臨む多目的ホールでは、ボランティアスタッフのティーサービスを楽しみながらご家族とゆっくり過ごすことができます。

ご家族の面会は24時間可能です。共同でご利用いただけるキッチンがあるのも当病棟の特徴です。



（左より：屋上庭園、3階東病棟病室、3階東病棟多目的ルーム）

○入院のご相談について

3階東病棟への入院にあたっては、緩和ケアの趣旨をご理解いただくことや、患者さんに関する情報の把握を目的として、事前の話し合いをさせていただいております。これは患者さんが今現在の自分の状態を理解し、これからどのように過ごしていきたいかをご家族・医療スタッフと話し合うことがとても大切だからです。

ご不明点や相談したいことなどございましたら、お気軽に地域医療連携センターまでお問い合わせください。

阿伎留通信については、第1回から最新号まで、公立阿伎留医療センターのホームページで御覧になることができます。ホームページアドレス(<http://www.akiru-med.jp>)